

第二分科会（小学校・創意ある教育課程）記録

提言テーマ「豊かな人間性を育む人権教育の推進」

～多様な他者や集団との交流活動を通して～

提言者〔佐賀市立久保泉小学校 中村 佳代〕

提言者〔唐津市立馬渡中学校 原口 真〕

記録者〔佐賀市立金立小学校 泊 裕人〕

記録者〔唐津市立七山中学校 田中千恵子〕

司会者〔唐津市立西唐津中学校 佐藤 彰〕

【研究協議題】

- ・創意ある教育課程を編成する際の軸、実践例、課題

1 質疑応答

- ・特になし

2 グループ協議報告・まとめ

(1) Aグループより

- ・県内とはいえ、それぞれの学校の置かれた状況が違う中で、その場に応じた教育課程を編成していくのが重要。創意ある教育課程を組むためには、地域連携も重要なポイントとなるので、学校、地域の思いをすり合わせながら実施していく必要がある。

(2) Bグループより

- ・小中連携や地域連携などについては、環境・状況を踏まえ、再度、目的を整理して見直すことが必要となってくる。また、効率ばかりを考えるのではなく、学校に残っているものを大切にしながら、どのように良い方向に変えていくのかの工夫も必要となってくる。

(3) Cグループより

- ・学校規模によって課題の内容は変わってくる。新規採用職員など若手の人材育成、働き方改革などにメリットがあるチーム担任制は、創意ある教育課程編成の1つの方法だと考えられるが、核となる職員の存在や人員（数）が必要となるので、その部分は課題だと考える。

(4) Dグループより

- ・多くの学校で地域人材や団体を活用したさまざまな教育活動が行われている。活動自体は定着しているが、体験ありきで学習につながっていない面も見られる。学校に余裕がなくなってきた今、教育課程自体の思い切った改革が必要なのではないか。

(5) まとめ

- 学校規模によって、教育課程編成に係る学校の課題が大きく違っていた。児童生徒の実態はもちろんのこと、保護者や地域の願い、地域性も大切にした特色ある教育課程を編成することが大切で、そのことが、それぞれの学校の強みを生かした特色ある学校づくりにつながると思われる。日々の学校経営の中で、校長として思い悩むことも多いかと思うが、本日の協議の中でそれぞれの先生方が思いを話され、笑顔になられたことが一番の成果ではないかと考える。

第二分科会（中学校・創意ある教育課程）記録

提言テーマ「つながりを育む教育課程の編成と運用」
～離島の強みを生かした特色ある学校づくりをめざして～

提言者〔佐賀市立久保泉小学校 中村 佳代〕

提言者〔唐津市立馬渡中学校 原口 真〕

記録者〔佐賀市立金立小学校 泊 裕人〕

記録者〔唐津市立七山中学校 田中千恵子〕

司会者〔唐津市立西唐津中学校 佐藤 彰〕

【研究協議題】

- ・創意ある教育課程を編成する際の軸、実践例、課題

1 質疑応答

- ・特になし

2 グループ協議報告・まとめ

(1) Eグループより

- ・学校規模によって課題が違っている。小規模校では縦のつながりはできるが横のつながりが弱い。オンラインでの他校との交流も考えられるが、金銭的なことを考えると頻繁にはできない。中規模校では特別支援学級授業や教育相談室運営に係る人手が足りず、適正な教育課程を編成することが難しい面がある。

(2) Fグループより

- ・市町立の学校なので、それぞれの市町が打ち出しているビジョンを教育課程に盛り込んでいくことが求められるのではないか。実際に設置者から降りてきている内容を教育課程の中に組み入れ、市全体の学校で創意ある教育課程に取り組んでいるところもある。

(3) Gグループより

- ・隣接する小学校と授業をし合い、縦のつながりを重視する取組を行ったり、近隣の中学校へ交流に行ったり、遠方の中学校と生徒会同士の交流の機会をもったりして、横のつながりをつくる取組を行ったりしている。さらに、同じ地域にある特別支援学校や大学等とも交流を行うなど、学校の置かれた地域の特色等を生かした交流を仕組み、価値観を広げる場の設定を行っている。

(4) まとめ

- 学校規模によって、教育課程編成に係る学校の課題が大きく違っていた。児童生徒の実態はもちろんのこと、保護者や地域の願い、地域性も大切にした特色ある教育課程を編成することが大切で、そのことが、それぞれの学校の強みを生かした特色ある学校づくりにつながると思われる。日々の学校経営の中で、校長として思い悩むことも多いかとは思いますが、本日の協議の中でそれぞれの先生方が思いを話され、笑顔になられたことが一番の成果ではないかと考える。